

5. フリー株式会社 freee人事労務 健康管理

フリー(株) freee人事労務 健康管理

企業名	フリー株式会社
機器・サービス名	freee人事労務 健康管理
問合せ先	freee 合理的配慮お問い合わせ窓口 (メールアドレス disability-support/atmark/freee.co.jp) (注)スパムメール防止のため「@」を「/atmark/」と表記しています。
機器・サービスの概要	本サービスは、高齢者・障害者を含めた企業や組織で働く従業員が、ストレスチェックを受ける際、手元で簡単に操作することができます。また、従来は紙で運用されていたストレスチェックや健康診断の受診進捗管理をデジタルで一元管理し、リアルタイムで確認することを可能にしました。
機器・サービスの特徴	<p>1. 機器・サービスの機能</p> <ul style="list-style-type: none">・ ストレスチェック: スマートフォンやPCでストレスチェックの受検が可能です。・ 健康診断: 健康診断受診の依頼やリマインドができるので、従業員が忘れずに受診することが可能になります。また、健康診断の判定項目を入力・保管でき、さらに異常ありの判定が出ている従業員へ健康診断の再受診の勧奨を簡単に行うことが可能です。 <p>2. 情報アクセシビリティの配慮内容</p> <ul style="list-style-type: none">・ VoiceOver/TalkBackへの対応: ストレスチェックの回答操作がスクリーンリーダーで行えます。紙での内容確認や作業が困難な場合でも、本サービスであれば回答が行えます。・ 文字サイズ・ボタンサイズへの配慮: 目が不自由な方でも、回答がしやすいよう配慮しています。・ 外国語への対応: 外国人労働者を雇用している事業所でも活用できるよう、テキストを日本語版・英語版に切り替えることができます。 <p>上記により、視覚障害者、肢体不自由者、精神障害者、車いすユーザー、外国語話者といったfreeeの社員が実際に本製品を利用しています。</p>

VoiceOver/TalkBackへの対応、文字サイズ・ボタンサイズへの配慮、外国語への対応

スマートフォンWeb画面

The image shows a smartphone screen displaying the 'Stress Check' (ストレスチェック) interface in Japanese. At the top, the status bar shows the time 13:58 and 4G connectivity. The browser address bar shows 'p.secure.freee.co.jp'. Below the title 'ストレスチェック', there is a language selection menu with '日本語' (Japanese) selected and 'English' as an option. The main content area contains two questions with radio button options. Question 1 asks about the amount of work, and Question 2 asks about the time to complete work. At the bottom, there are buttons for '提出' (Submit), '保存' (Save), and a progress indicator '回答状況: 0/57問'.

英語版の回答画面

The image shows a desktop monitor displaying the 'Stress Check Survey' interface in English. The title 'Stress Check Survey' is at the top right. Below it, a sub-header reads 'About the job'. The main instruction says 'We would like to ask you about your work. Please select the most applicable one. Required'. The survey consists of eight numbered items, each with four radio button options: 'Very much so', 'Moderately so', 'Somewhat', and 'Not at all'. The items are: 1. I have an extremely large amount of work to do, 2. I can't complete work in the required time, 3. I have to work as hard as I can, 4. I have to pay very careful attention, 5. My job is difficult in that it requires a high level of knowledge and technical skill, 6. I need to be constantly thinking about work throughout the working day, 7. My job requires a lot of physical work, and 8. I can work at my own pace. At the bottom, there are 'Submit' and 'Save' buttons, and a progress indicator 'Progress: 0/57'.

フリー(株) freee人事労務 健康管理

当事者ニーズを 踏まえた開発

- 視覚障害当事者かつアクセシビリティ専門家のメンバーと共に、WCAGベースのアクセシビリティガイドラインおよびチェックリストを開発・運用
- 当該ガイドラインおよびチェックリストに則り、製品開発チームごとにチェックを実施
- そのチェック結果の妥当性を前述の専門家とともに週次レビュー
- 全盲の障害当事者によるスクリーンリーダーチェックおよび改善点の起票を実施
- freee社内でfreee製品を実際に使用。freee社内には障害当事者が複数名在籍しており、社内ユーザーからのフィードバックにより製品改善に取り組んでいる
- 障害当事者による利用事例の積極的な把握を行い、同時に事例記事化してウェブで公開

企業としての 組織的な取組

- アクセシビリティ専任メンバーの存在
- 全社員向けに、入社時にアクセシビリティオンボーディングを実施
- アクセシビリティを考慮したデザイン・実装コンポーネントの作成
- アクセシビリティガイドライン・チェックリストの制定と公開
- ガイドライン・チェックリストの全プロダクトでの運用
- 合理的配慮の対応方針および問い合わせ窓口の設置

参考:[アクセシビリティ | freee](#)

1 当事者・開発者の視点でみたときに、アクセシビリティ配慮として評価できる点

a. 製品が提供する価値

- ・ 健康管理にはストレスチェックなど人に知られたくないプライベートな回答が多く含まれるため、自ら操作ができることが望ましい。企業に義務付けられているストレスチェックなど健康管理報告システムに当事者も自ら入力できる試みは素晴らしい。

b. 機能面でのアクセシビリティ配慮

- ・ 回答ボタンを大きくして操作をしやすくする、スクリーンリーダに対応する等によって、視覚に頼らざるを得なかった問題が軽減されることは評価できる。
- ・ 障害のある従業員だけでなく、管理者としての立場も想定して管理者画面のアクセシビリティも確保している点が評価できる。
- ・ 自分一人で回答できるようにすることを念頭に置いて、視覚障害者、肢体不自由者、精神障害者、車いすユーザーなどの社員が実際に利用可能なものにしてある点が評価できる。

2 当事者ニーズを踏まえた開発について、優れている点

- ・ 障害のある社員の意見を反映し、また、開発・更新にも参加を得てシステムを開発している。
- ・ WCAGベースの自社アクセシビリティガイドラインを使用し、全盲当事者による検証をもとに改善をしている。

3 企業としての取組について、優れている点

- 企業全体としてアクセシビリティ対応を徹底して製品開発する姿勢を有している。
 - ✓ WCAGベースのガイドライン・チェックリストを設け、公開。
 - ✓ アクセシビリティ問題が発生しにくいパーツを開発して、それを組みわせて製品化することでアクセシビリティ問題を抑制する開発戦略をとっている。
 - ✓ 社内チェックリストの作成や、全職種の全メンバーを対象とした社員全員に対するアクセシビリティ研修を実施。
 - ✓ 問い合わせ窓口を設置して、対応事例の収集など、合理的配慮の対応のための各種の体制を整備。
 - ✓ 合理的配慮の問い合わせ窓口および様々な部署で構成された合理的配慮委員会を設けて、個別の対応について議論する場を用意。また、これにより、いわゆる特定の部署への依存状態を作らず、会社全体であらゆる段階から取り組んでいくプロジェクト的な体制の整備につながっている。

4 当事者にとって重要であるが、今後更なる配慮が期待される点(今後期待したい点)

a. 製品が提供する価値

- ・ ストレスチェックや企業健康診断の結果をどのように回答者の障害特性を踏まえて通知しているのかが明らかになることを期待する。
- ・ 労務担当者及び従業員にとり有効な製品と評価できるが、具体的な対応が明らかになることを期待する。

b. 機能面でのアクセシビリティ配慮

- ・ 操作に熟練した専門家だけでなく、初心者の障害のあるユーザーなども含めたテストを期待する。
- ・ システムの評価について、視覚障害者向けのビジネス技能訓練施設と連携することを期待する。